九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

中国演劇の成立と巫覡

福満，正博

https://hdl.handle.net/2324/7359933

出版情報：Kyushu University, 2024, 博士（文学）, 論文博士
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

（様式６－２）

氏　　名	福満　正博			
論　文　名	中国演劇の成立と巫覡			
論文調査委員	主　査	九州大学	教授	静　永　　健
	副　査	九州大学	准教授	井　口　千　雪
	副　査	九州大学	講師	孫　　琳　浄
	副　査	九州大学	准教授	藤　井　倫　明
	副　査	九州女子大学	教授	黄　　冬　柏

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

上記の論文は、中国の古典演劇の発生と展開において、その有力な原動力の一つと考えられる伝統的な民間信仰、つまり各種の天災・人災に対する忌避や恐怖への対処を施そうとする習俗や宗教儀礼との関係を発見し、その根拠を示そうとしたものである。第一章「元雑劇中の神仙道化劇」、第二章「元雑劇中の公案劇と『左伝』」、第三章「観阿弥の「自然居士」と関漢卿の「救風塵」」、第四章「中国の地方劇「王魁」から見た南戯の始祖「王魁」」、第五章「中国演劇の最古の起源である目連戯」、そして結論の６章で構成されている。

洋の東西を問わず演劇（無声戯・歌劇・話劇などそのいずれをも含む）には、その娯楽性とともに、期日を決めて「神」に捧げられる信仰（つまり祭礼儀式）の要素が存在する。中国の場合、演劇は時代が下るにつれて庶民の生活から切り離され、特に近代以降は、京劇に代表されるように宮廷や中央政府の指導・管理する方向に傾斜していったために、その本来備わっていた宗教性や、下層庶民との関係が明確にはわかりにくい状況にあった。しかし中国元明時代の残存資料（『元曲選』や明の周憲王朱有燉の雑劇など）や、またそれらの演劇が文字化され徐々に形成されていった古典小説（四大小説『三国演義』『水滸伝』『金瓶梅』『西遊記』をはじめとする）の記述などを丹念に精読してゆくと、災害や戦乱、また平凡な家庭に突如降りかかるさまざまな厄難に対しておそれおののき、それを防ぎ追い払い、また昇天・浄化させたいという切実な庶民の願いが、その根底に存在することがわかる。本論文の最も評価されるべき点は、その構造の発見と、時代や地域を跨いでその傍証を探し求めた功労にある。日本の習俗や祭礼にも残る「追儺・鬼やらい」も、その源流は中国に存在し、神と人とを結ぶ方術士（シャーマン）は特に「巫覡」もしくは「方相氏」と称される。それらはときに異相の悪鬼（例えば目が四つある）やおよそ人に非ざる異形の動物（例えば孫悟空や猪八戒）、また怪力無双の豪傑・異能の超能力者たちであって、か弱き庶民を助け、その災いを発する外敵や悪魔を退治してゆく。つまり悪を制御するのは更に強力な悪の力にある、と庶民は信じていたのである。その異能者はどのような困苦に喘ぐ庶民をも助けることができる。例えばその最たる典型が妓女である。家を棄て、名を捨て、そして命までも失いかけている彼らは、すんでの所で異能者に救われる。その構造は、古代中国の文献のみならず、中国の地方村落に保存されている古芸能や地方劇、また日本の能の始祖である観阿弥の脚本からも読み取ることができるのである。

以上から、本調査委員会は、上記の論文の提出者が博士（文学）の学位を授与されるにふさわしいと認めるものである。